



北九州市立黒崎中央小学校 高学年通信 文責：藤田 正博

～絆を深めて Keep Smile～

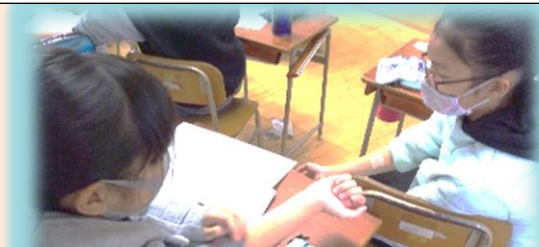
第121号 令和3年1月19日（火）

教科担任制度、今週も充実しています。



みなさん、アルコールの害って
知っていますか？

こちらは保健の学習の様子です。担当の瀧口先生が、アルコールについて子ども達に分かりやすく説明していました。その後、実際に体験活動も取り入れることで、正しく理解することができました。



5年生の教室に行くと、それぞれの担任が入れ替わって授業をしていました。1組では社会科。担当の宮本先生がテストを通して定着を図っていました。2組では河堂先生が「想像力のスイッチを入れよう」という新単元に入り、学習のめあてづくりをしていました。



3組では佐伯先生が算数科の図形の学習に入り円周と直径の関係について学習を進めていました。5年生では円周を求める公式を、そして6年生では円の面積を求める公式を調べていきます。

教科担任制度では、このようにして担任が毎日他のクラスを回り、学習指導はもちろん生徒指導を行うことで複数体制で子ども達を見守ることができるのです。

タブレット特集① 6年生「総合的な学習～未来予想図をかこう～」



みなさんの将来の夢は何ですか？自分がどのような人生を歩んでいきたいか考えてみましょう。

6年生は、キャリア教育をさらに充実させるため、総合的な学習の時間を使って自分の未来予想図を立てていきました。この中で、活躍するのがタブレット。自分の希望する職業や進路について、詳しく知りたい！そう思った瞬間に、世界中の情報を収集できるのです。これは便利！

もしスポーツ選手になったらこんな人生だな。ビジネスマンになるためには〇〇大学に行きたいな。



タブレット特集② 6年生「学活～自学チャンピオンを決めよう～」

一方、こちらはタブレット上で、友達の作品のよいところを見つけ、吹き出しを増やす取り組みをした様子です。

タブレットのよさは、このように友達のノートのよさを見つけ、自分の意見を付け加えていくことができることです。

あっという間に、友達のノートのよさがはっきりと見て分かりました。



「今、この一瞬にありがとう。」

コロナ禍に悩まされた2020年度。しかし、タブレット端末を使うと、様々な学習形態を組むことができます。無限の可能性を秘めたタブレット。今後も、さらにできることが増えていくことでしょう。

情報機器をうまく活用することで、子ども達の学習意欲を高められるよう、今後も工夫改善に努めていきます。

